

慶應大  
芝浦工大  
中央大  
東大  
東工大  
東京海洋大  
日大  
武藏工大

交流

国土交通省  
関東地方整備局  
東京国道事務所

東京都  
中央区

日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会  
名橋「日本橋」保存会  
日本橋活性化フォーラム  
地元町会

## 日本橋学生工房とは

日本橋学生工房は、都市活性化の方策の提言と関係者の合意形成、そして各種事業実現を目的として活動してきた。複数の大学の学生が1年ずつ引き継いで、4年間様々な成果を挙げてきた点で、他に例を見ない活動だと自負している。

その成果は、景観改善や交通問題改善、河川環境改善に向けた提案を通して地域のまちづくりを促進することで、実際に商店街の通りの舗装改善に向け関係者の合意形成を図ったこと等である。

## 日本橋について～その歴史と現状～

日本橋は慶長8年（1603）、江戸幕府の開幕と同時に架けられた。

江戸時代、水路・陸路の結節点であり、「商業の中心」として多くの人々で賑わった日本橋は、明治時代には日本銀行本店や多くの金融機関が集まる「経済の中心」として、その役割を変えていった。

戦後、経済・商業の中心として機能し発展を続けた日本橋には、大企業が多数進出し、高層化・高密化したビルが建ち並ぶ一方で、住民の流出が起こった。

日本橋はオフィスワーカーのまちになり、昼夜間人口差は年々大きくなる一方であった。

また、自動車交通の増加による交通混雑、ならびに東京オリンピックの開催に伴い計画された首都高速道路は、日本橋川上を覆うように建設され、日本橋川の存在は人々の記憶から忘れ去られようとしていた。

かつて、日本の経済・商業、そして文化の中心であった日本橋。

そのかつての賑わいは、どこに行ってしまったのだろうか。

しかし、日本橋には、確かに「本物」がある。

現在、日本橋では多くの「都市再生」事業が行われ、かつての賑わいを取り戻そうとしている。

日本の中心として、再び誇れるまちに。

日本橋は動き始めている。

## 学生工房の活動のプロセス

### ～まちづくりの各ステップにおける工房の特色ある活動～

#### 仲通り　　日本橋川　　観光　　小学校

#### 活動目的

地元住民を中心としたまちづくり　　まちづくりにおける川の魅力の再認識　　人で賑わう日本橋　　小学校からのまちづくり

#### まちづくりの提案

街路空間の整備と共同建替え　　浄化システムの提案  
車両規制提案　　軒プロジェクトの提案  
歴史的建物活用の提案　　観光マップの作成

#### 体験を通じた まちづくり意識の向上

社会実験の実施　　川の親水体験  
中央通り歩行者空間　　ストリートファニチュア

#### まちづくりの実行

電線地中化に伴う石畳舗装化の検討　　学生向けのガイドブック「日本橋ブライア旅」  
導水可能の検討

常盤小ワークショップ  
まちづくり意識向上

#### その実行と まちづくりの継続

専門家による日本橋川シミュレーション  
アンテナショップ誘致可能性の検討  
情報発信ステーションの効果把握



日本橋川沿い（明治時代）

**日本橋  
学生工房**  
～学生による日本橋  
まちづくりへの提言  
とその成果～

